

3 交通事業会計

〔概要〕

平成29年度の交通事業の運営については、「宇部市地域公共交通網形成計画」に沿った路線再編を進めるとともに、運行の安全性の確保及びバス利用者の利便性とサービスの向上を図るため、車両及び車載設備等の更新、バスロケーションシステムの導入を実施しました。

また、経営改善策として、引き続き正規職員に対する給料の特例的カットを実施する一方、経営の安定化に向け、嘱託運転士の正規職員への登用制度を構築しました。

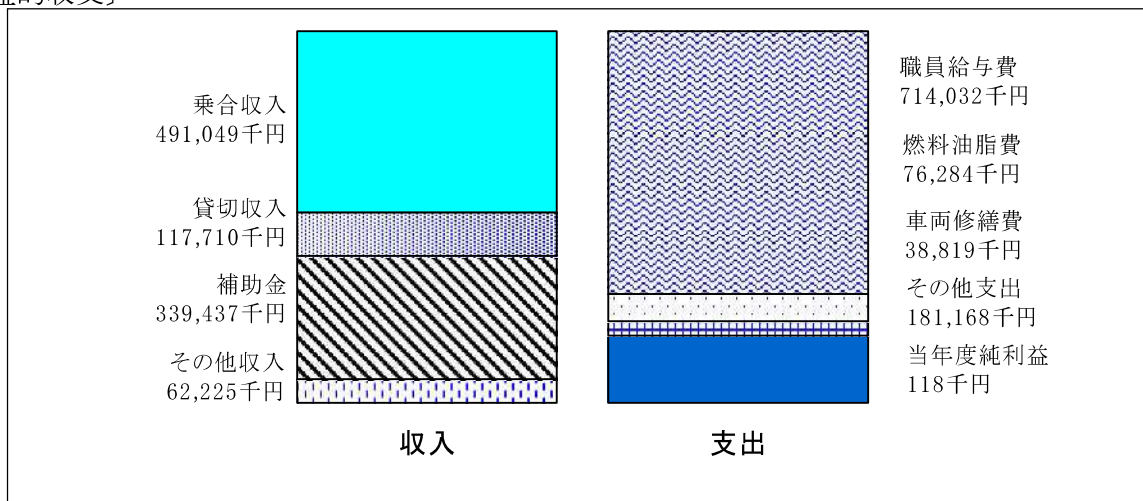
業務量については、乗合事業では、稼働バス台数は 19,528 台(前年度比 94.1%)、走行キロ数は 2,956 千km(前年度比 93.5%)、輸送人員は 2,354 千人(前年度比 96.5%)となりました。

一方、貸切事業では、稼働バス台数は 1,767 台(前年度比 108.1%)、走行キロ数は 246 千km(前年度比 103.3%)、輸送人員は 63 千人(前年度比 113.0%)となりました。

経営成績については、事業収益は 1,010,421 千円に、事業費用は 1,010,303 千円となり、収支差引の結果、当年度純利益は 118 千円に、また、当年度未処分利益剰余金は 36,967 千円となりました。

資本的収支については、収入は、企業債等で 38,663 千円、支出は、中型路線バス 2 台の新車購入費用及び企業債償還金等で 136,551 千円となり、差引不足額 97,888 千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 5,403 千円及び過年度分損益勘定留保資金 92,485 千円で補てんしました。

〔収益的収支〕



〔資本的収支〕

